

変形労働制ではなく、せんせいふやそう!

# 止めよう! 変形労働制 29

「止めよう! 変形労働制」ニュース No.29

全北海道教職員組合

2019.12.2

**部活動指導員の予算は増加!  
しかし成り手がいない!**



## 働き方改革と部活動指導員

教員の働き方を変えていくため、2017年度から部活動指導員が制度化されています。2019年度の文科省予算によると、3000校分の予算を計上し、運用しています。これは全国の3割の学校に行き渡らせる計画となっています。2020年度にはさらに予算の概算要求は増やされてきています。しかしまだ半分の学校にも行き渡らせるだけの予算も組まれていないのが現状です。これで教員の働き方は改善されるのでしょうか??現場で働いている身からすると、到底理解できないでしょう。また部活動指導員の補助金配分は、「部活の時間や日数の削減に積極的に取り組んでいる学校から優先的に補助金を配分することにした」(産経新聞 2019.1.25)となっており、「結果を出すところにお金を出すよ」という本末転倒な内容になっています。**苦しんでいる学校にこそ必要**なのではないでしょうか??しかも国からの補助は1/3だけ、残りは都道府県が1/3、市町村が1/3の負担となっています。

## 宗谷管内の現状は??

宗谷管内でも昨年度から部活動指導員が配置されています。実態は次のようになっています。

**管内中学校数…22校 部活動指導員配置校…2校(3名)**

**1割にも満たない結果**となっています。国の計画には程遠い結果となっています。ではなぜこのような状況となっているのでしょうか?1つは稚内市のみ配置されているという点です。稚内市内には中学校が7校ありますので、市内だけで考えると約28.6%…ほぼ3割に近づく結果となります。管内にはあと9町村あります。「それぞれで配置を検討すればよいのでは?」という思いも出てくるかもしれませんが、ここに大きな問題があるのです。

## 誰ができるのか??

宗谷の市町村の人口を調べると、稚内市…33682人、猿払村…2765人、浜頓別町…3585人、中頓別町…1684人、枝幸町…8075人、豊富町…3901人、礼文町…2489人、利尻町…2001人、利尻富士町…2441人、幌延町…2307人(全て住基ネットより)となっています。毎年2%近く減っています。さらに管内の高齢化率は約30.3%と、全国平均を上回っています。それぞれが自分の仕事をしている中、夕方3~4時から**部活動の指導ができる人が地域にいない**のです。私自身(宗谷教組書記長)も現場で働いているときに「少年団のコーチになってほしい」と言われたことが何回かあります。もともと地域の大人が担ってきている少年団でさえ「人材不足」なのです。そこに新たな「部活動指導員」というものが生まれても厳しいことは想像に難くありません。この制度を教員の働き方改革につなげるのであれば、部活動指導員として任用される人が生活に困らず専念できる保障を国の責任のもとで措置されなければならないのです。